

「かけひき指導」のメリット&デメリット

「かけひき」を使った指導とは



給食指導において「苦手なこれを少し食べられたら、好きなこっちを食べてもいいよ」というような「かけひき」を使った指導が行われることがあります。「かけひき」を使った指導にはメリットとデメリットやポイントがありますので、以下より紹介いたします。

メリット

栄養の偏りを防ぎやすくなる

大人が食べる順番を指導することによって、好きなものばかり食べることで、それにより栄養の偏りを防ぎやすくなる可能性があります。

デメリット

子どもの食への意欲低下

苦手なものを食べなければいけないことから、子どもの食への意欲が低下することがあります。

今日から見直そう！良くない「かけひき指導」の例

食べない理由に沿った対応ができていない

「食べない」ことには理由があります。その理由に沿った対応をしなければ、「かけひき」によって食べても、嫌いが助長されることがあります。

全部食べることが条件になっている

「全部食べないとデザート無し」などは、やはりハードルが高すぎます。給食の時間自体が苦痛になってしまう可能性があります。

段階的な勧め方になっていない

匂いを嗅いでみる、ぺろっと舐めてみる、米粒大から食べてみるなどの段階を経て、苦手なものにも挑戦できるようになります。「ひと口食べること」でも、かけひきの条件として、ハードルが高い可能性があります。



伝え方も大切！

「これを食べないとデザートなしだよ！」なのか「これを食べてからデザートにしよっか！」なのかなど、同じような意味でも伝え方で受け取る印象は違いますね！子どもにとって食べるのが楽しくなるような伝え方を心がけてみましょう。

